

フィリピン 神話と伝説

26. 最初の松の木

バギオ市はフィリピンの「夏の首都」としてよく知られています。それはまた、「松の街」とも呼ばれます。なぜならその街は周りを松の木で囲まれているからです。松の木の始まりが、この伝説のテーマです。

昔々、ルソン島の北部に誠実で親切な心の少女がいました。彼女の誠実さや親切な心にもかかわらず、彼女の住んでいる村では、彼女はすべての人に好かれませんでした。彼女を避けるその理由は、彼女の体は見苦しい皮膚病で覆われていたからです。彼女が大きくなつた時、若い男たちは彼女と仲間になることを避けました。それで、彼女はひとりさびしい乙女になりました。

さびしさの心の痛みを感じたある日、不幸の重荷を減らそうと思って、彼女は森へ行きました。そこでは鳥たちの歌や小川のせせらぎが、彼女の必要な慰めを与えてくれると思ったからです。そして彼女の思ったとおりでした。自然の美しさが森には豊かで、彼女の落ち着かない心を静めてくれて、すぐに、彼女はすべての悲しみを忘れられました。今度だけは彼女は大変幸せを感じました。

彼女の幸せのために、彼女はひざをかがめて、カブニアンという力強い神様に祈りました。

「ああ、偉大なカブニアンよ。」乙女は泣き叫びました。「わたしはここで永遠に生きたいのです。わたしを木に変えてください。そうすればもはや不幸にはなりません。鳥がわたしの友達になるでしょう。今わたしを嫌って、わたしを仲間にすることを避けている男たちでさえも、来てわたしの枝を抱えて家に帰り、燃料にするでしょう。だから、どうか偉大なカブニアンよ、わたしをここで永遠に生きさせてください！」

天国の住まいから、カブニアンは彼女の嘆願を聞いたあと、彼女に言いました。「あなたの希望はかなえられるであろう。わが子よ。」

突然、その場所全体が暗くなりました。そして、数分過ぎて、光が帰ってくると、その少女はどこにも見つけることはできませんでした。彼女は消えてしまったのです。

次の朝、村人たちは、乙女が祈るためにひざまずいた所に、一本の木が育っているのを見つけました。それは、ちょうど少女の体のように、鋭い針で覆われていました。彼女が生きていた時、彼

女を苦しめていた肌の病気のために、彼女は針状の痛みで覆われていました。そして、その不思議な木を鋭い針が覆っているので、人々はそれを「パイン ツリー（松の木）」と呼びました。その意味は「針の木」ということです。

練習問題

新しい言葉の学び

それぞれの単語の意味を辞書で調べなさい。その言葉を使って文章を作りなさい。

- 1 . shun
- 2 . lonesome
- 3 . misfortune
- 4 . solace
- 5 . Abounded
- 6 . Restless
- 7 . Mighty
- 8 . Transform
- 9 . Plea
- 10 . afflicted

質問に詳細に答えなさい。

次の各問いに答えなさい。

- 1 . この物語の設定はどこですか？
- 2 . 少女のふたつの良い性格は何ですか？
- 3 . 何が人々に彼女を嫌いにさせましたか？
- 4 . ある日彼女がさびしさを減らすために何をしましたか？
- 5 . 彼女は偉大なカブニアンに何を頼みましたか？
- 6 . 彼女の願いはかなえられましたか？
- 7 . 少女は何になりましたか？植物と少女に似たところがありましたか？何が彼らを似たものにしましたか？
- 8 . 「夏の首都」の意味は何ですか？

明確化と発展の評価

- 1 . あはたは、誠実で親切な心の人を、その肌の病気のために嫌いになりますか？あなたの答えを説明しなさい。
- 2 . カブニアンに彼女が木になることを頼むかわりに、その乙女は何を頼むべきだったでしょうか？